

出前講座

分野：「健康」

テーマ：口腔管理と健康

職・氏名： 歯科衛生学科 教授 大林 泰二

◆概要：

口の中の細菌が虫歯や歯周病の原因の一つであることは古くから知られていましたが、実はそれだけではありません。手術をする前後に口腔管理をしたほうが良いといわれますが、何故なのでしょう。できるだけわかりやすく講義いたします。

◆内容：

人類の歯磨きは、記録を遡ると古代エジプトで紀元前 3500 年頃にはあったといわれます。何かよくわからないけれど、歯の表面に付いている白いもの（歯垢）は体に悪いものだから除去した方が良く、ということを経験的に知ったのでしょうか。あるいは宗教的儀式の一つだったのかもしれない。

実はこの歯垢の正体は細菌の塊、しかもその濃度は糞便と同じかそれ以上とされ、人体で最も高濃度な細菌の塊なのです。食べ物と一緒に消化管に入る分にはあまり問題になりませんが、血流に乗って全身に回ったり、気管から肺に入ったりすると大変です。

また、歯垢を長期間除去せずにいると、口腔内のカルシウムによって石灰化し、歯垢が歯面よりも蓄積しやすい環境となるばかりか、歯磨きなどのセルフケアで除去することが非常に困難となるため、定期的に歯科医院で除去する必要があります。

これらに加え、近年の研究で報告されている手術前後での口腔管理の重要性についてお話します。

(PowerPoint を用いて講義しますので、プロジェクターが必要です。)

◆出講可能な時間帯：

4月～7月(前期)・・・火曜日(午後)、水曜日(午前)

10月～1月(後期)・・・月曜日(午後)、水曜日(午前)

- (1) 専門分野…口腔総合医療学、歯科医学教育学
- (2) 主な担当科目…解剖学、口腔解剖学、衛生学・公衆衛生学
- (3) 一言メッセージ…大学病院での診療経験を生かし、臨床の現場の話も交えて講義します。